



最優秀賞受賞にあたって

鹿児島県鹿児島市立南小学校 ^{まさ} ^{いっ} ^ま
牧 逸馬

鹿児島市立南小学校の牧逸馬と申します。今回は、このような大きな賞をいただくことができました、大変感激しております。

私は昨年、南小学校に赴任したのですが、赴任した最初の日に、本日鹿児島から一緒に来てくださった、西ゆう子校長先生から「どうか、南小学校の子どもたちを理科好きにしてください。理科の大好きな子どもたちを増やしてください」と言われました。

論文にも書きましたが、実態調査をすると約6割の子どもたちが理科嫌いだと答えていました。私は、子どもたちの理科に対する興味関心を高めるためにはどうしたらいいのだろうと、いろいろ工夫して実践しました。

今日はせっかくですので、この場で簡単な実験をしてみます。皆さんも小学生になったつもりで見てください。道具はとても簡単です。

これは今朝私が飲んだホットコーヒーの空き缶です。これは髪の毛につけるヘアスプレーです。そして、机上に置いてあるのは紙コップです。それから100円ライター。材料はこれだけです。これからこの紙コップをロケットにして飛ばしてみようと思います。上手く飛んだら拍手をお願いします。

まずひと吹きだけ入れます。そして蓋をします。ここからが大事です。皆さんでカウントダウンします、よろしいですか。はい、「10、9、8、7、6、声が小さいです。5、4、3、2、1、0、発射。」(拍手)

ホッとしました。昨日からホテルで、この練習をずっとしていました。(笑)

こういう実験をすると、子どもたちは本当に目をキラキラ、キラキラ輝かして見ます。しかし、ここからが理科です。「では、なぜ紙コップが飛んだの？」と質問します。ヘアスプレーの成分表には、LPGと書いてあります。LPガスですけれども、スプレー缶の場合はその中にもブタンガスが入っています。これに引火して爆発して飛んだのですが、「スプレー缶を40度以上の室温が高くなるような場所に置いたり、火の近くに置いたりしたら危ないんだよ、爆発する恐れがあるんだよ」という話がこのあとできるのです。

それが、今でいう活用能力につながっていくと私は思っています。身近なところに理料的な材料はたくさんあります。教科書に書いてあることだけではなく、そうしたものから子どもたちに授業の中から発展していろいろな話をしながらこの1年間やってきました。これからもずっと続けたいと思っています。

最後に一つだけ宣伝をさせていただきます。来年、平成28年11月に鹿児島で理科教育の九州大会が開催され、私の勤務する南小学校が小学校の会場校になります。南小学校での理科の実践をぜひ九州地区の先生方だけではなくて、全国の先生方が見に来てくださったら嬉しいと思っています。

本日は、本当にありがとうございました。